

授業科目 相談援助各論 IV

【担当教員名】 豊田 保	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

【概要・一般目標：G10】
 相談援助の様々な実践モデルを理解する。
 スーパービジョンとコンサルテーションを修得する。

【学習目標・行動目標：SB0】
 相談援助における治療モデル、生活モデル、ストレンクスモデルを理解する。
 相談援助における心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチを理解する。
 相談援助における危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、エンパワメントアプローチを理解する。
 スーパービジョンについて理解する。
 コンサルテーションについて理解する。
 ケースカンファレンスの方法について理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	治療モデル		講義による学習（以下、同じ）
2	生活モデル		
3	ストレンクスモデル		
4	心理社会的アプローチ		
5	機能的アプローチ		
6	問題解決アプローチ		
7	課題中心アプローチ		
8	危機介入アプローチ		
9	行動変容アプローチ		
10	エンパワメントアプローチ		
11	スーパービジョンの意義と目的、方法		
12	コンサルテーションの意義と目的、方法		
13	ケースカンファレンスの意義と目的、方法		
14	相談援助における個人情報の保護		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法 II	白澤政和、福山和女、米本 秀仁	中央法規出版	2012・2,600円+税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 期末試験またはレポートによる	【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること
--------------------------	----------------------------